



県病医療ニュース

病院機能評価3rdG:Ver2.0認定病院

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係

※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら



呼吸器内科

新型タバコは安全なのか!?

喫煙によりひきおこされる健康障害は、悪性腫瘍、脳血管障害、狭心症などの循環器疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支喘息などの呼吸器疾患、胃・十二指腸潰瘍などの消化器疾患、胎児死亡、生殖機能低下、低出生体重児出産などの産婦人科疾患など多岐にわたります。タバコの健康被害については幅広く知られており、最近では喫煙率が減少しています。

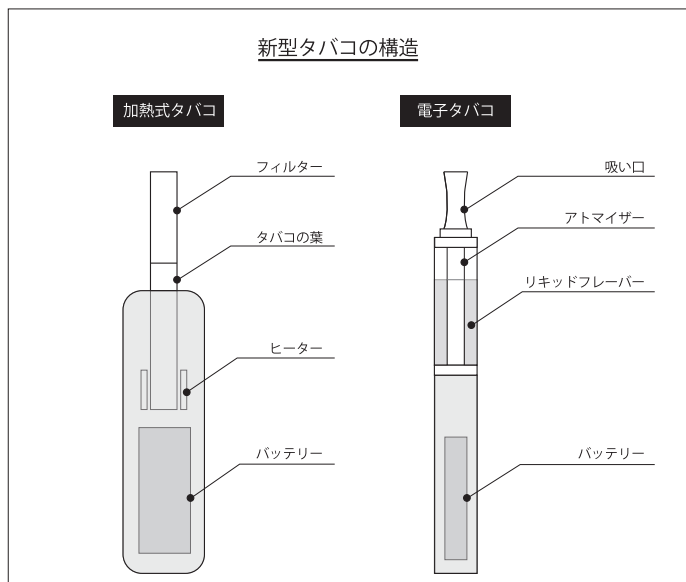
一方、近年新型タバコ(加熱式タバコや電子タバコ)が流通しています。

加熱式タバコは、タバコ葉を詰めたヒートスティックを高温で加熱し、エアロゾルを吸入します。タバコ葉を使用するため、ニコチンやタールを含有していますので健康被害が懸念されます。

電子タバコは、プロピレングリコール、植物性グリセリン、香料などが入ったリキッドフレーバーを加熱して発生した蒸気を吸入します。ニコチンやタールを含有していないため安全と思われがちですが、プロピレングリコールを加熱すると発がん性が指摘されているホルムアルデヒドやアセトアルデヒドが生成されます。アメリカでは、電子タバコが原因とみられる呼吸困難、息切れ、胸痛、嘔吐、下痢、発熱といった健康被害がすでに報告されています。

新型タバコは従来のタバコとは異なるので安全だと思われがちですが、我々は認識を改めなくてはなりません。

(呼吸器内科 部長 安東 優)



小児外科

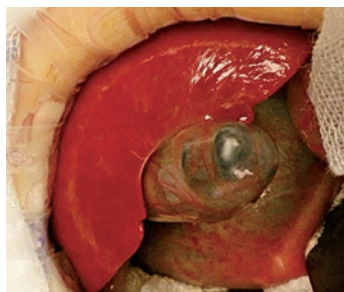
胆道閉鎖症と早期発見のための
便色カラーカード

胆道閉鎖症

胆道閉鎖症は、肝臓で作られた胆汁が通る管(胆管)が生後に消失する疾患です。生後まもなくから月齢1～2頃までに便色が薄くなることや、黄疸が出てくることで気付かれます。原因は不明ですが、1万出生に1人の割合でみられ女児に多いです。

治療は肝外胆汁流出路を確保することであり、肝門部空腸吻合術という手術が一般的です(図1)。日齢とともに肝内胆汁うっ滞が進行し、肝実質病変・肝内胆管の荒廃が進むため、できるだけ早期に手術を行うことが勧められています。術後の胆汁流出が悪いと、早期に肝不全に至り肝臓の移植を考慮する必要があります。

図1



概ね正常な肝の外観

胆道閉鎖症患児の肝の外観
硬くごつごつとした肝硬変を呈している

便色カラーカード(便色カード)

胆道閉鎖症の黄疸は新生児黄疸が一時弱まったり、引き続いて見られたりすることがあるため、診断やその後の治療が遅れることが問題となります。また軽度な黄疸の段階では気が付かれにくいことも診断が遅れる原因となります。現在、この胆道閉鎖症の早期診断を目指し、便色の変化をご家庭でも気付いてもらえるように、2012年から母子手帳に便色カラーカード(図2:胆道閉鎖症診療ガイドライン第1版より)が挟み込まれるようになりました。便色カラーカードの導入により、導入以前より早期に肝門部空腸吻合術を施行できたという報告が国内外からもたらされて

おり、黄疸を伴わず自分の肝臓で過ごしている児が増加したという報告もあります。

便色が薄くなった(1番～3番)ときには早めにかかりつけの小児科や当科への受診をしてください。

(小児外科 副部長 内田 康幸)

図2



便色カード

(2012年度から全国的に母子健康手帳に添付されている)

※本写真は色調が正確に再現されていない可能性がありますので、判定には母子健康手帳に添付されている便色カードをご使用ください

胆道閉鎖症診療ガイドライン 第1版 一部編集



看護師ほか医療スタッフの臨時職員を募集しています。詳しくはこちら